

加茂市市民アンケート調査結果

目次

1. 市民アンケート概要	1
2. 回答者属性	2
(1) 性別, 年齢区分別, 地区別回答者数と割合(問 1, 問 2, 問 3)	2
(2) 性別・年齢区分別・居住地区別回答者数と割合	3
3. アンケート調査結果概要	4
[1] 定住意向と理想とする加茂市	4
(1) これからも加茂市に住み続けたいと思いますか(問 9)	4
(2) 今後も加茂市に住み続けたい理由は何ですか(3 つまで)(問 10)	5
(3) 市外に転出したい, 他の地区に移り住みたい理由は何ですか(3 つまで)(問 11)	7
(4) あなたが理想とする加茂市はどんなまちですか(3 つまで)(問 16)	9
[2] 市の政策・取り組みに対する満足度と重要度	11
(1) 取組の満足度, 重要度(問 12)	11
(2) 満足度が高い取組(3 つまで)(問 12)	15
(3) 重要度が高い取組(3 つまで)(問 12)	19
(4) 人口減少が進むとどのようなことが問題となるか(3 つまで)(問 15)	23

1. 市民アンケート概要

表 1-1 アンケート調査の概要

項 目	概 要
対 象	加茂市在住の 18 歳以上男女
実施時期	令和 2 年（2020 年）7 月 27 日－8 月 17 日
抽出方法	住民基本台帳を用いた等間隔抽出
配布回収	郵送法
配布票数	2,000 票
回収状況	回収票数：996 票，回収率：49.8%

表 1-2 回答者の年齢構成と加茂市の年齢構成

	回答者割合			人口割合			差(%ポイント)		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
18-19歳	1.4%	1.3%	1.5%	2.1%	2.3%	1.9%	-0.7	-1.0	-0.5
20歳代	5.5%	5.7%	5.4%	7.8%	8.5%	7.2%	-2.3	-2.7	-1.8
30歳代	7.0%	7.7%	6.3%	9.5%	10.7%	8.4%	-2.5	-2.9	-2.1
40歳代	12.2%	12.8%	11.7%	14.3%	15.3%	13.5%	-2.1	-2.5	-1.8
50歳代	17.4%	19.2%	16.0%	15.2%	15.9%	14.5%	2.3	3.3	1.5
60歳代	24.1%	24.1%	24.1%	18.9%	19.4%	18.4%	5.2	4.7	5.7
70歳代以上	32.4%	29.1%	35.1%	32.2%	27.9%	36.1%	0.2	1.2	-1.1
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%			

注：人口割合は、新潟県『新潟県推計人口（令和 2 年 10 月 1 日現在）』『年齢（各歳）別推計人口』より、令和 2 年 10 月 1 日時点の加茂市における年齢別推計人口から算出したものである。

- 新潟県公表の 2020 年 10 月 1 日時点の推計人口と比較すると、本調査の回答者は 40 歳代以下（50 歳代以上）の割合が男女計では 7.6%ポイント、男性では 9.2%ポイント、女性では 6.1%ポイント過小（過大）である。

2. 回答者属性

(1) 性別, 年齢区分別, 地区別回答者数と割合(問 1, 問 2, 問 3)

①性別回答者数と割合

	回答者数	割合
男性	454	45.6%
女性	539	54.1%
不明	3	0.3%
計	996	100.0%

②年齢区分回答者数と割合

	回答者数	割合
18-19歳	14	1.4%
20歳代	55	5.5%
30歳代	69	6.9%
40歳代	121	12.1%
50歳代	174	17.5%
60歳代	240	24.1%
70歳代以上	322	32.3%
不明	1	0.1%
計	996	100.0%

③地区別回答者数と割合

	回答者数	割合
七谷小学校区	73	7.3%
南小学校区	181	18.2%
加茂小学校区	253	25.4%
石川小学校区	212	21.3%
下条小学校区	162	16.3%
須田小学校区	70	7.0%
西小学校区	36	3.6%
不明	9	0.9%
計	996	100.0%

注：属性不明者を含む。

- ・ 性別は男性が 45.6%, 女性が 54.1%である。
- ・ 年齢区分では, 60 歳代以上が 56.4%の過半数を占めている。
- ・ 小学校区では最大は加茂小学校区が 25.4%, 最小は西小学校区で 3.6%である。

(2) 性別・年齢区分別・居住地区別回答者数と割合

①性別・年齢区分別回答者数と割合

	男性	女性	計	男性	女性	計
18-19歳	6	8	14	0.6%	0.8%	1.4%
20歳代	26	29	55	2.6%	2.9%	5.5%
30歳代	35	34	69	3.5%	3.4%	7.0%
40歳代	58	63	121	5.8%	6.4%	12.2%
50歳代	87	86	173	8.8%	8.7%	17.4%
60歳代	109	130	239	11.0%	13.1%	24.1%
70歳代以上	132	189	321	13.3%	19.1%	32.4%
計	453	539	992	45.7%	54.3%	100.0%

注：性・年齢不明者を除く 992 名の集計結果。992 名を 100%として集計。

- ・ 30歳代以下の男性が 6.8%，30歳代以下の女性が 7.2%である。
- ・ 40-50歳代の男性が 14.6%，40-50歳代の女性が 15.0%である。
- ・ 50歳代以上の男性が 24.3%，50歳代以上の女性が 32.2%である。

②年齢区分別・居住地区別回答者数と割合

	七谷	加茂	下条	須田	計	七谷	加茂	下条	須田	計
18-19歳	0	9	3	2	14	0.0%	0.9%	0.3%	0.2%	1.4%
20歳代	5	39	6	4	54	0.5%	4.0%	0.6%	0.4%	5.5%
30歳代	5	45	15	4	69	0.5%	4.6%	1.5%	0.4%	7.0%
40歳代	5	78	24	12	119	0.5%	7.9%	2.4%	1.2%	12.1%
50歳代	12	119	28	15	174	1.2%	12.1%	2.8%	1.5%	17.6%
60歳代	22	158	40	19	239	2.2%	16.0%	4.1%	1.9%	24.2%
70歳代以上	24	234	45	14	317	2.4%	23.7%	4.6%	1.4%	32.2%
計	73	682	161	70	986	7.4%	69.2%	16.3%	7.1%	100.0%

注 1：年齢・居住地区不明者を除く 986 名の集計結果。986 名を 100%として集計。

注 2：居住地区は、8つの小学校区を七谷，加茂（加茂小，石川小，南小，西小）下条，須田の 4 地区に区分している。

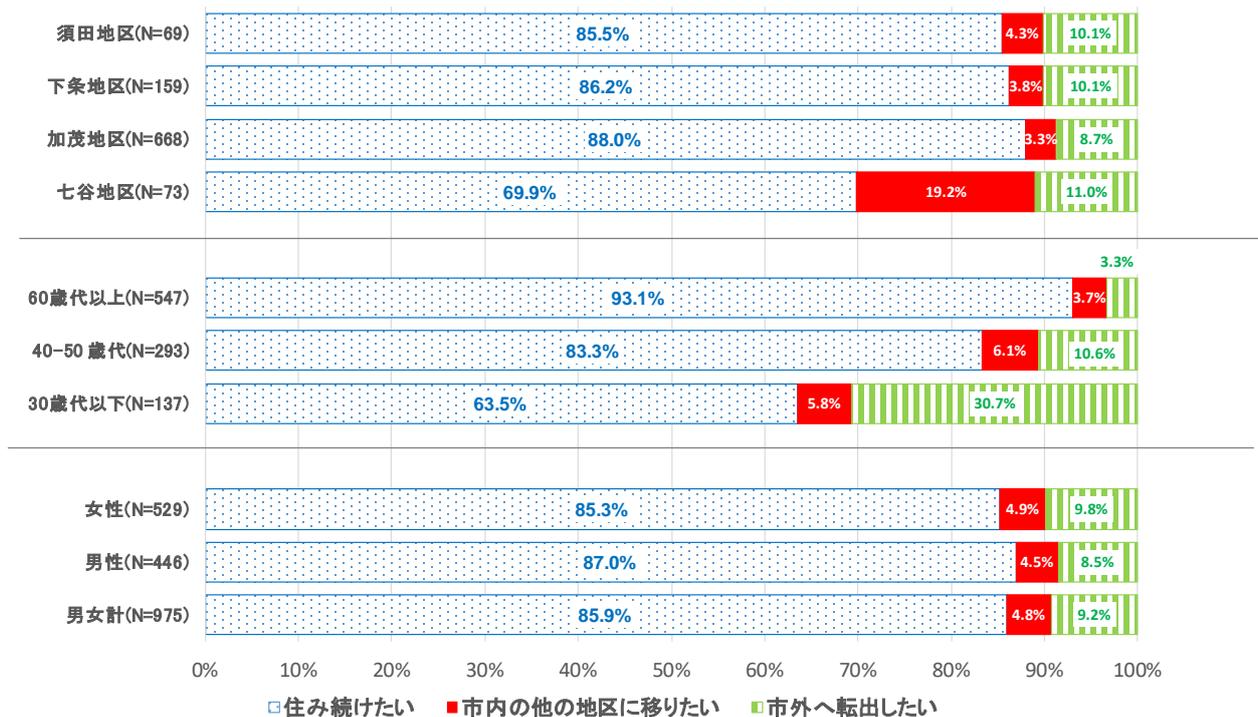
- ・ 加茂市区の回答者が 69.2%であり，そのうち 50歳代以上が 51.8%と全回答者の過半数を占める。
- ・ 最大グループは加茂地区 70歳代以上の 23.7%である。

3.アンケート調査結果概要

[1] 定住意向と理想とする加茂市

(1) これからも加茂市に住みたいと思いますか(問9)

性別，年齢区分別，地区別回答者割合



注：N は回答者数。

(回答者全体：男女計)

- ・ 85.9%が「住み続けたい」と回答し，4.8%が「市内の他の地区に移りたい」，9.2%が「市外に転出したい」と回答している。

(性別)

- ・ 男女間の違いはほとんど確認されない。ただし，男性では「住み続けたい」割合がわずかに高く，女性では「市外に転出したい」割合がわずかに高い。

(年齢区分別)

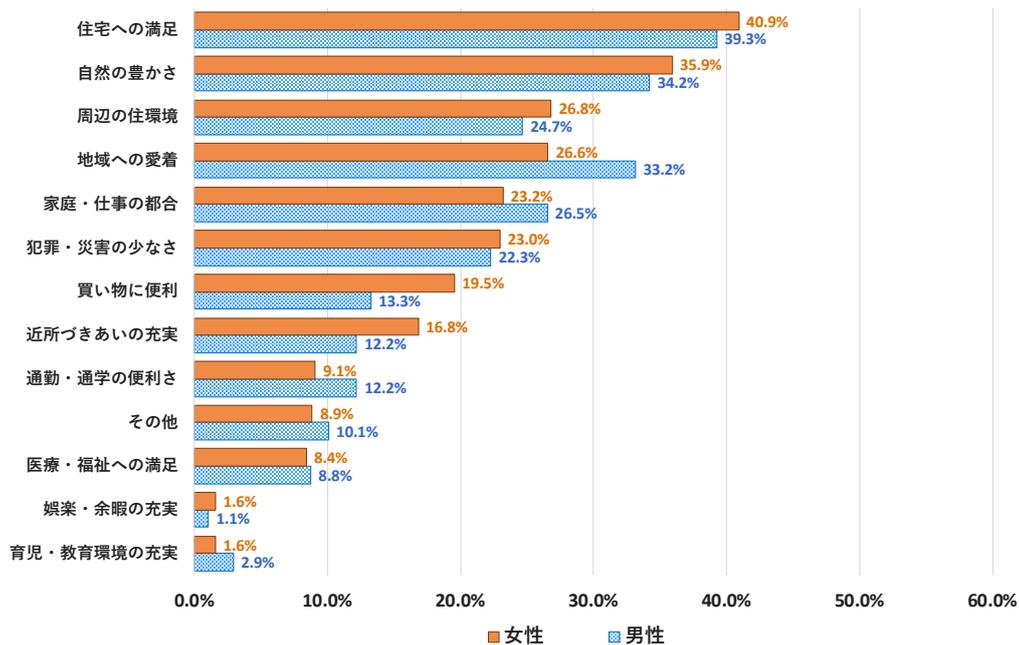
- ・ 年齢区分には大きな違いが見られる。30歳以下では63.5%が「住み続けたい」と回答し，5.8%が「市内の他の地区に移りたい」，30.7%が「市外に転出したい」と回答している。

(地区別)

- ・ 地区による違いも確認される。他地区と異なり，七谷地区では69.9%が「住み続けたい」と回答し，19.2%が「市内の他の地区に移りたい」，11.0%が「市外に転出したい」と回答している。

(2) 今後も加茂市に住み続けたい理由は何ですか(3つまで)(問 10)

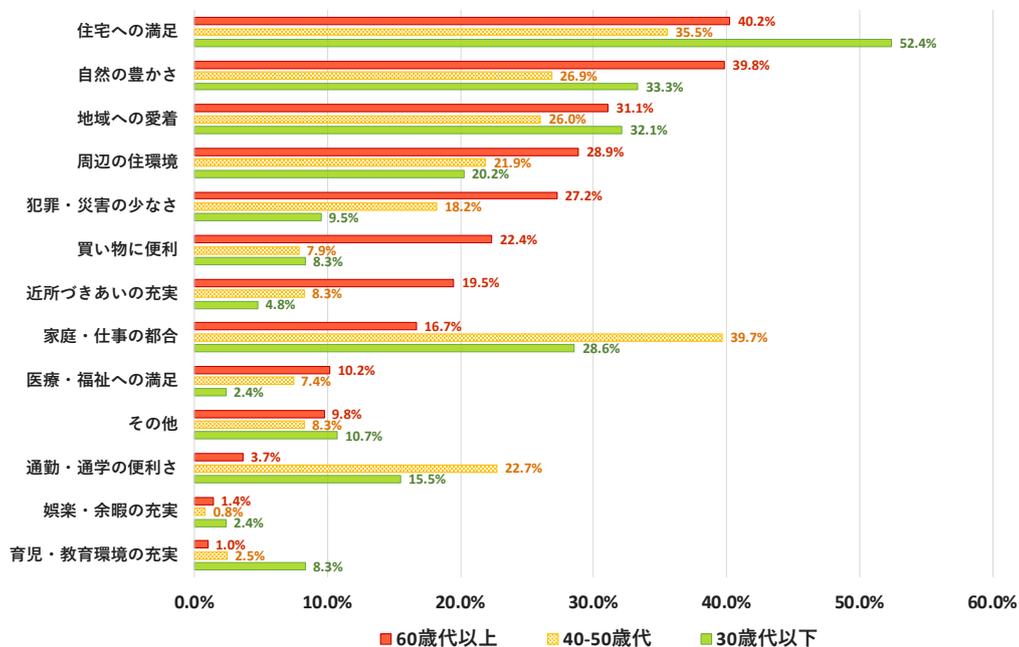
①性別割合



注 1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており，回答数/回答者数で定義されている。

注 2：女性の回答割合で降順にソート。

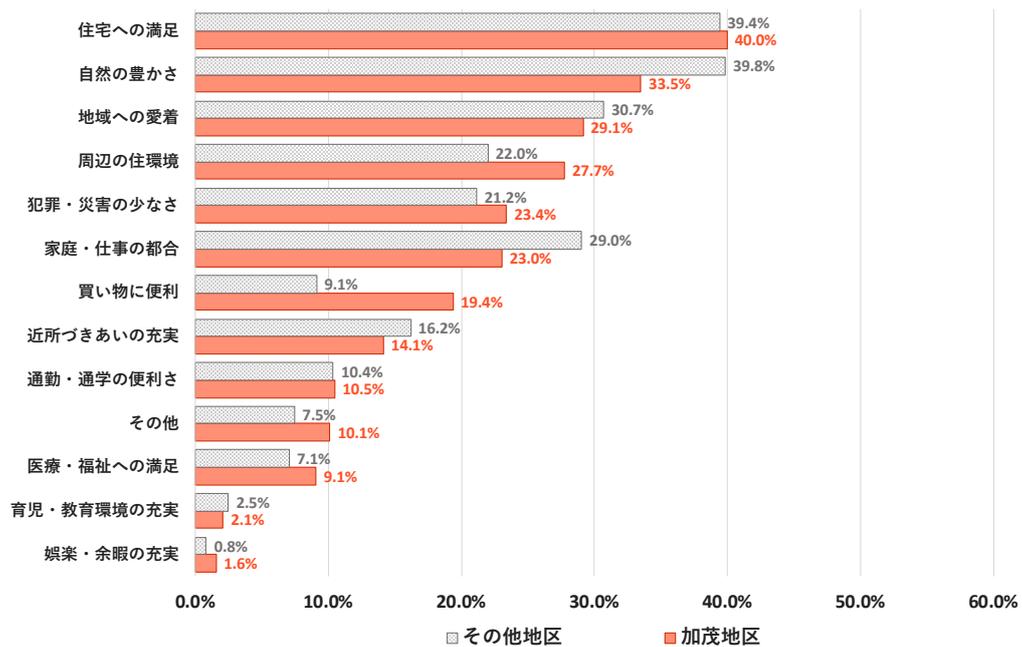
②年齢区分別割合



注 1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており，回答数/回答者数で定義されている。

注 2：60歳代以上の回答割合で降順にソート。

③地区別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：加茂地区の回答割合で降順にソート。

①性別

- ・ 住み続けたい理由として、30%以上の男女がともに「住宅への満足」と「自然の豊かさ」を挙げている。男女差は小さいが、男性では「地域への愛着」と「家庭・仕事の都合」の割合が高く、女性では「買い物に便利」と「近所づきあいの充実」の割合が高い。

②年齢区分別

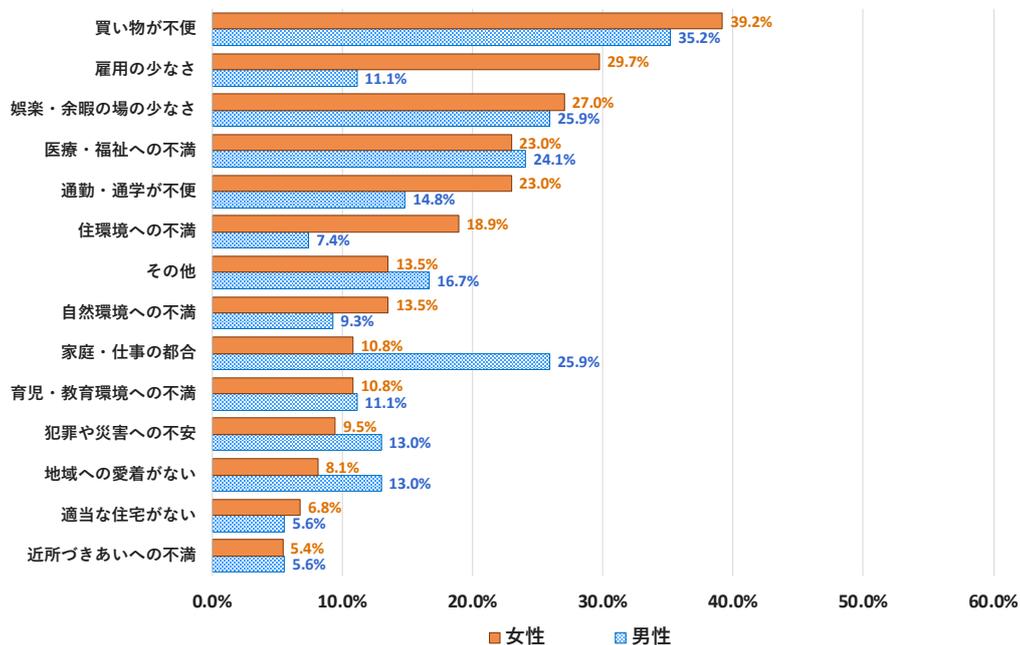
- ・ 年齢による違いは大きい。30歳代以下の50%超が「住宅への満足」を挙げており、40-50歳代の約40%が「家庭・仕事の都合」を挙げている。60歳代以上は他の年齢層と比較して、「犯罪・災害の少なさ」、「買い物に便利」、「近所づきあいの充実」、「自然の豊かさ」を挙げる割合が高い。
- ・ 30%以上が回答した理由を挙げると、30歳代以下は、「住宅への満足」、「自然の豊かさ」、「地域への愛着」である。40-50歳代は、「家庭・仕事の都合」と「住宅への満足」である。60歳代以上は、「住宅への満足」、「自然の豊かさ」「地域への愛着」である。

③地区別

- ・ 地区による差は相対的に小さい。加茂地区では「周辺の住環境」、「買い物に便利」を挙げる割合が高く、その他の地区では「自然の豊かさ」、「家庭・仕事の都合」を挙げる割合が高い。

(3) 市外に転出したい、他の地区に移り住みたい理由は何ですか(3つまで)(問 11)

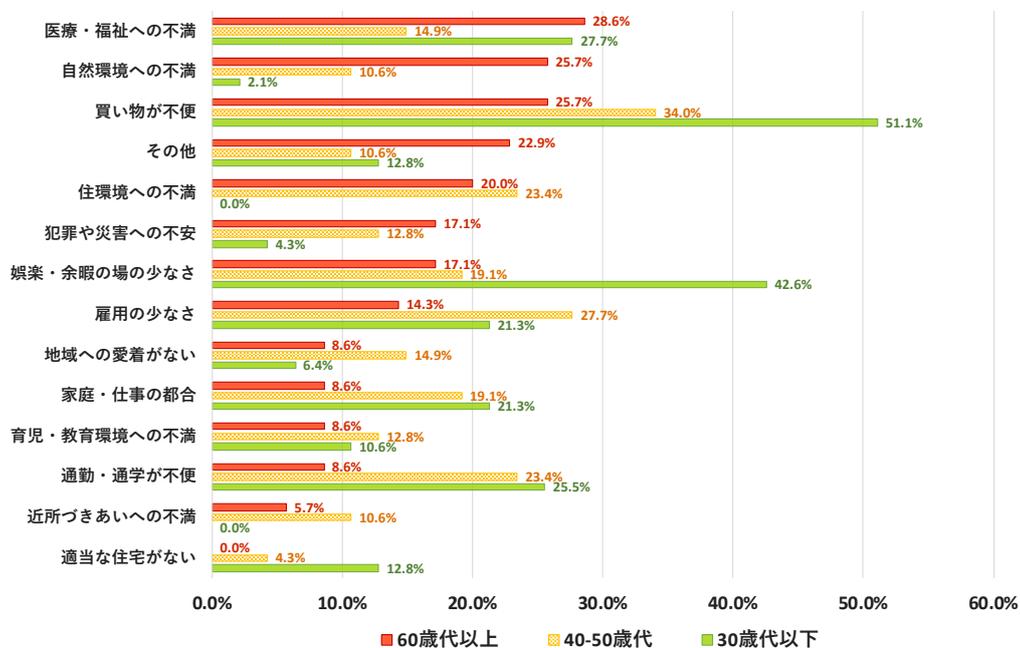
①性別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：女性の回答割合で降順にソート。

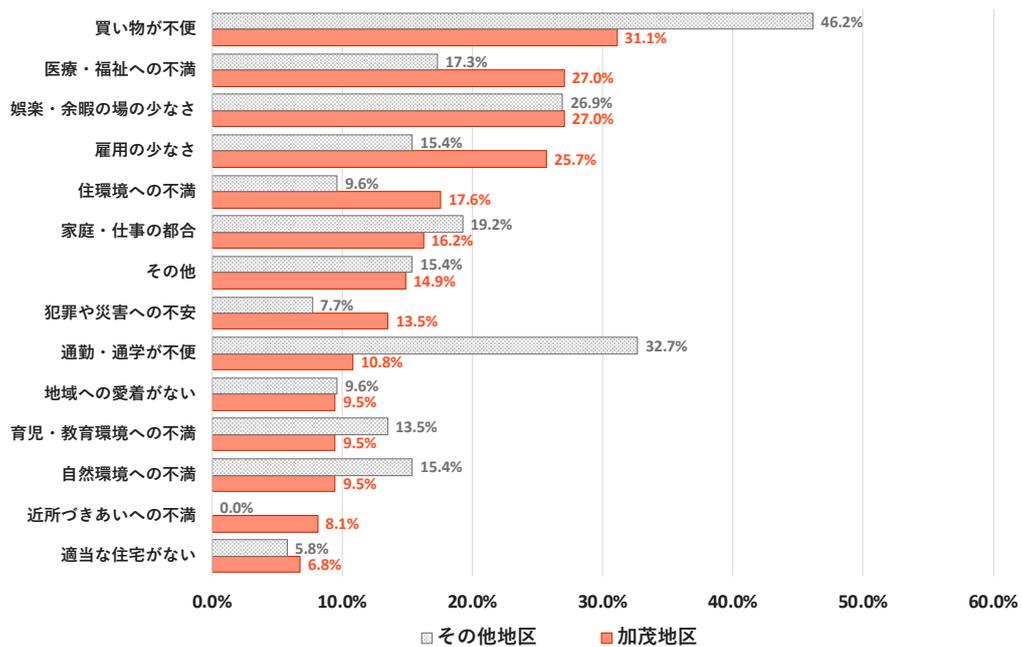
②年齢区分別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：60歳代以上の回答割合で降順にソート。

③地区別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：加茂地区の回答割合で降順にソート。

①性別

- ・ 住み続けたくない理由として、30%以上の男女がともに「買い物が不便」を挙げている。男女差は小さくなく、男女間で比較すると、男性では「家庭・仕事の都合」の割合が高く、女性では「雇用の少なさ」と「住環境への不満」の割合が高い。

②年齢区分別

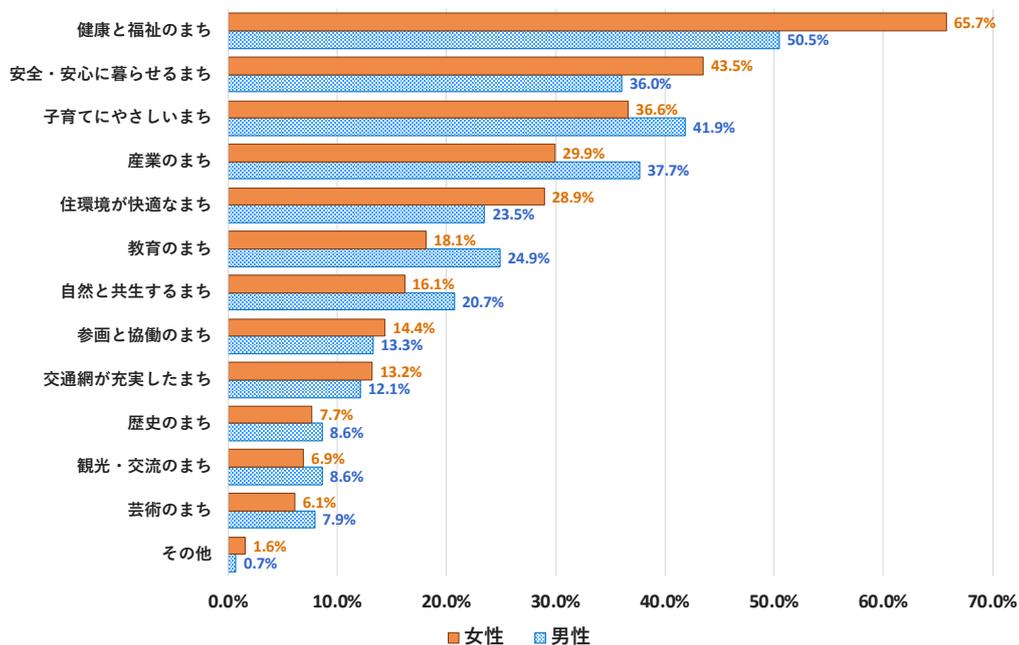
- ・ 年齢差は大きく、30歳代以下の50%超が「買い物が不便」、40%超が「娯楽・余暇の場の少なさ」を挙げている。40-50歳代の34%が「買い物が不便」、28%が「雇用の少なさ」を挙げている。60歳代以上の25%超が「医療・福祉への不満」、「自然環境への不満」、「買い物が不便」を挙げている。

③地区別

- ・ 地区による差は小さくなく、地区間で比較すると、加茂地区では「医療・福祉への不満」、「雇用の少なさ」、「住環境への不満」を挙げる割合が高く、その他地区では「買い物が不便」と「通勤・通学が不便」を挙げる割合が特に高い。

(4) あなたが理想とする加茂市はどんなまちですか(3まで)(問16)

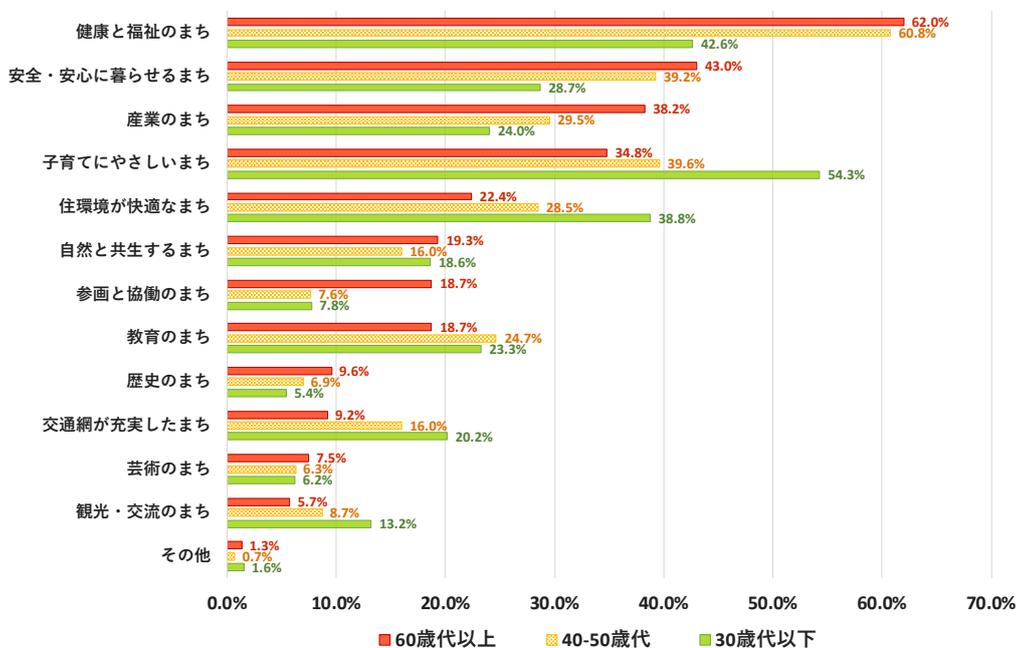
①性別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：女性の回答割合で降順にソート。

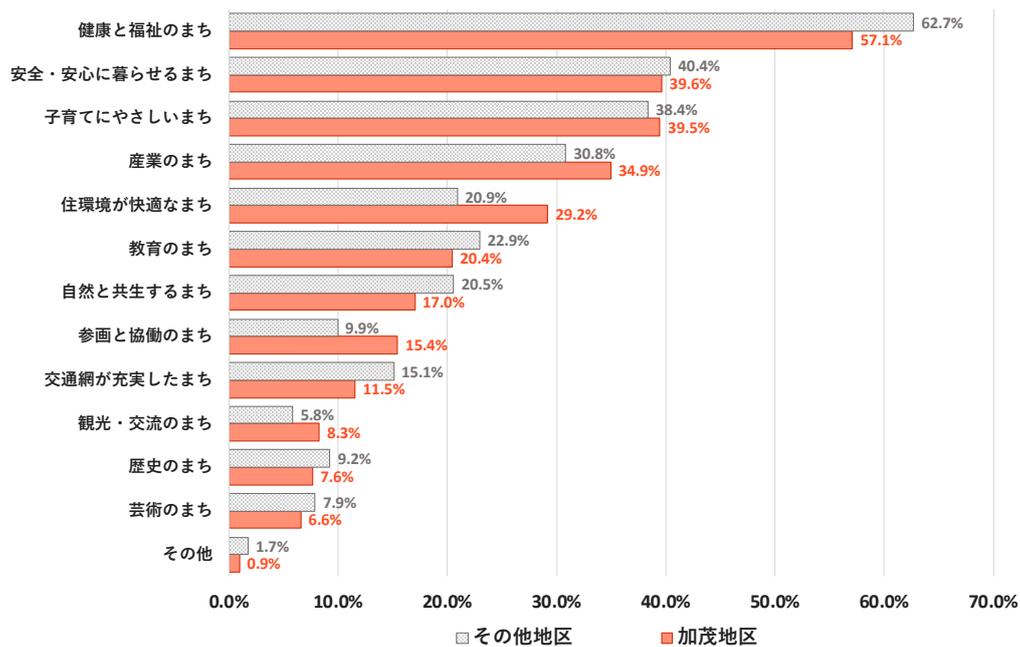
②年齢区分別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：60歳代以上の回答割合で降順にソート。

③地区別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：加茂地区の回答割合で降順にソート。

①性別

- ・理想とする加茂市については、50%以上の男女がともに「健康と福祉のまち」を挙げている。男性では50%が「健康と福祉のまち」、42%が「子育てにやさしいまち」、38%「産業のまち」を挙げ、女性では66%が「健康と福祉のまち」、44%が「安全・安心に暮らせるまち」、37%が「子育てにやさしいまち」を挙げている。
- ・男女差は大きくないが、男女間で比較すると、男性は「子育てにやさしいまち」、「産業のまち」、「教育のまち」を挙げる割合が高く、女性は「健康と福祉のまち」と「安全・安心に暮らせるまち」を挙げる割合が高い。

②年齢区分別

- ・年齢差は大きく、40-50歳代と60歳代以上の60%超が「健康と福祉のまち」を挙げているのに対して、30歳代以下は43%である。他方、30歳以下の54%が「子育てにやさしいまち」を挙げている。
- ・「子育てのまち」は、30歳代以下の54%、40-50歳代の40%、60歳代の35%が挙げている。
- ・「教育のまち」は、30歳代以下の23%、40-50歳代の25%、60歳代の19%が挙げている。

③地区別

- ・地区による差は大きくないが、地区間で比較すると、加茂地区では「住環境が快適なまち」、「産業のまち」、「参画と協働まち」を挙げる割合が高く、その他地区では「健康と福祉のまち」と「交通網が充実したまち」を挙げる割合が相対的に高い。

[2] 市の政策・取り組みに対する満足度と重要度

(1) 取組の満足度, 重要度(問 12)

市民アンケート調査では、「子育て, 医療, 福祉」, 「生活環境」, 「都市基盤」, 「教育文化スポーツ」, 「産業・観光」, 「市民参画・行政運営」の 5 分野における, これまでの加茂市の 32 の取組(施策)について, 満足度と重要度を調査している。

(a)満足度と重要度の点数化の方法について

1)点数化

以下の算定式から「満足度」と「重要度」を点数化している。

満足度

$$= \frac{\{(とても満足=2) + (やや満足=1) + (どちらでもない=0) + (やや不満 = -1) + (不満=-2)\}}{\text{回答数}}$$

重要度

$$= \frac{\{(とても重要=2) + (やや重要=1) + (どちらでもない=0) + (やや非重要 = -1) + (非重要=-2)\}}{\text{回答数}}$$

2)点数の見方

満足度と重要度はともに, -2 から 2 までの値をとりうる。

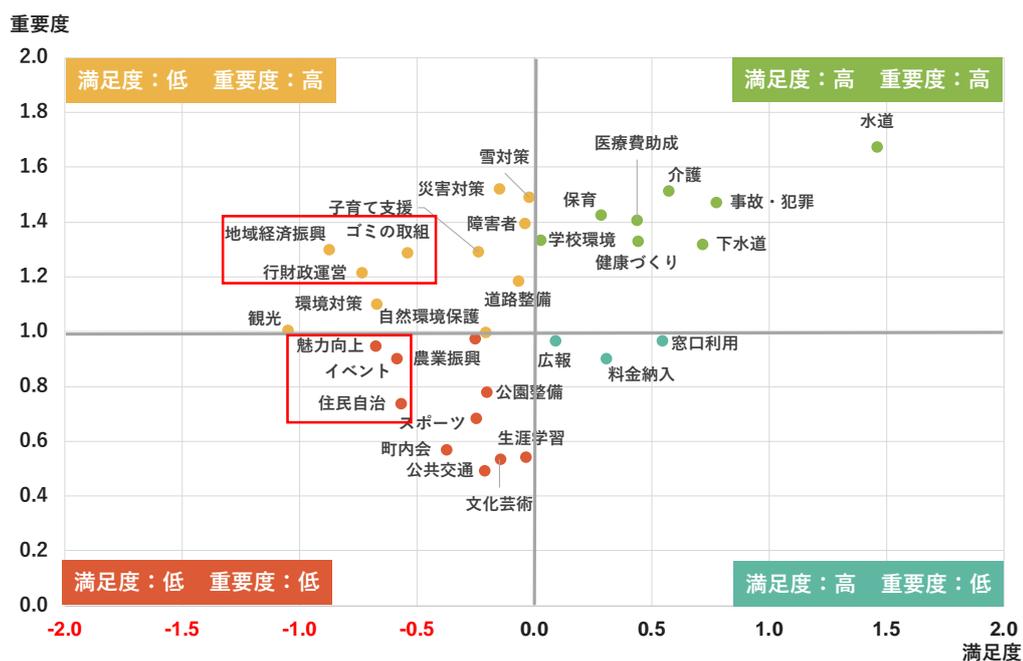
プラス → 満足している(重要だと思う)市民が多い。

マイナス → 満足していない(重要だと思わない)市民が多い。

(b)図の見方について

- ・「満足度」の点数は 0 を境に, 0 より上(プラス)を満足度が高い領域, 0 より下(マイナス)を満足度が低い領域としている。
- ・「重要度」の点数は 1 を境に, 1 より上を重要度が高い領域, 1 より下を重要度が低い領域としている。
- ・満足度と重要度を組み合わせることで, 右上を「満足:高, 重要度:高」, 左上を「満足:低, 重要度:高」, 左下を「満足:低, 重要度:低」, 右下を「満足:高, 重要度:低」の領域とみなしている。
- ・図の左上の「満足:低, 重要度:高」は, 住民にとっての重要度が高いが, 満足度が低い領域であり, 市民満足の改善のための対策が求められる。また, 左下の「満足:低, 重要度:低」であっても, 市民にとっての重要度が低いかもしれないが, 政策上重要な取組であるため, 市民満足の改善のための対策が求められる。

①全体



1) 「満足：高，重要度：高」

- ・ 満足度も重要度も共に高い主な取組は、「水道」, 「事故・犯罪」, 「介護」, 「下水道」である。

2) 「満足：低，重要度：高」

- ・ 重要度が高いが，満足度が低い主な取組は，「地域経済振興」, 「行政財政運営」, 「ゴミ減量等の取り組み」である。

3) 「満足：低，重要度：低」

- ・ 重要度と満足度が共に低い主な取組は，「魅力向上」(まちなかの魅力向上, 発信), 「イベント」(イベントによる市街地の賑わい), 「住民自治」, 「町内会」(町内会等のコミュニティ活動), 「公共交通」である。

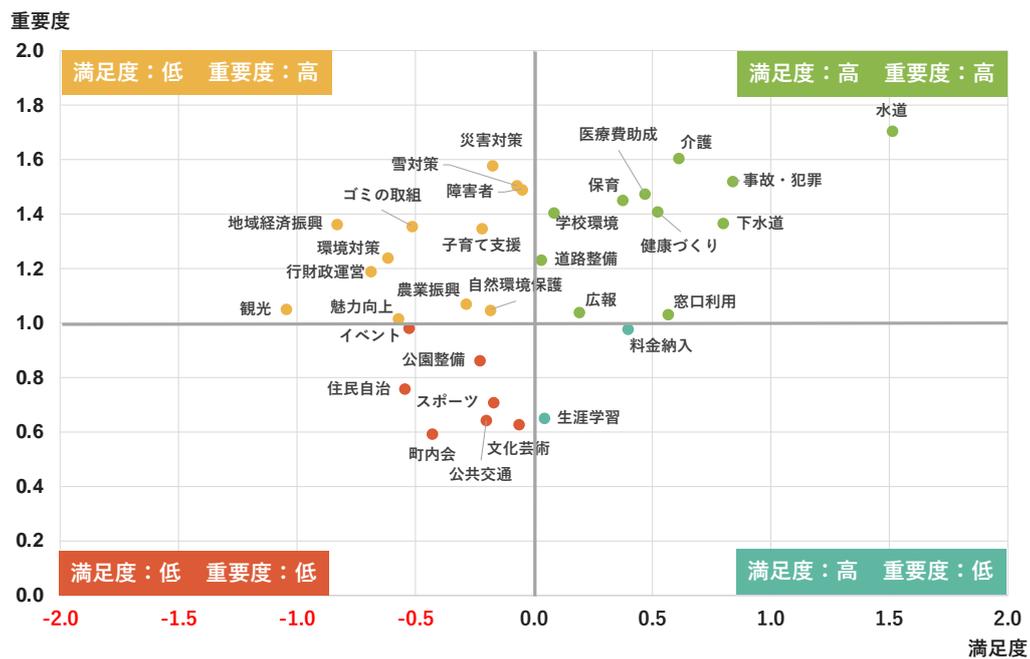
4) 「満足：高，重要度：低」

- ・ 満足度は高いが，重要度が低い取組は，「広報」, 「料金納入」, 「窓口利用」である。

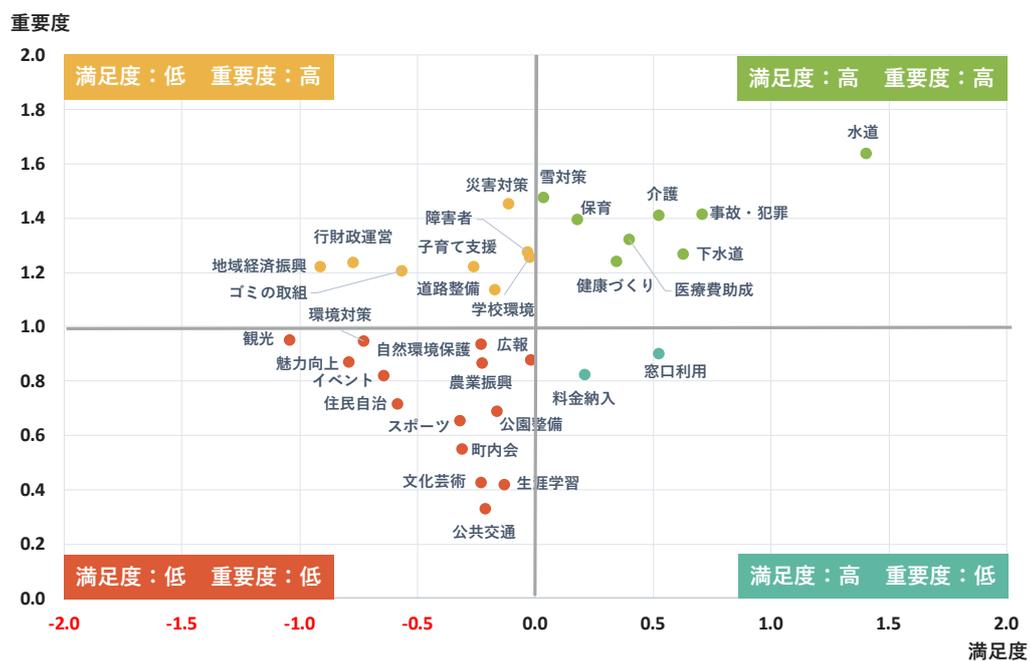
これらは，以下の性別，年齢区分別で見ても，大きな違いは確認されない。

②性別

女性



男性

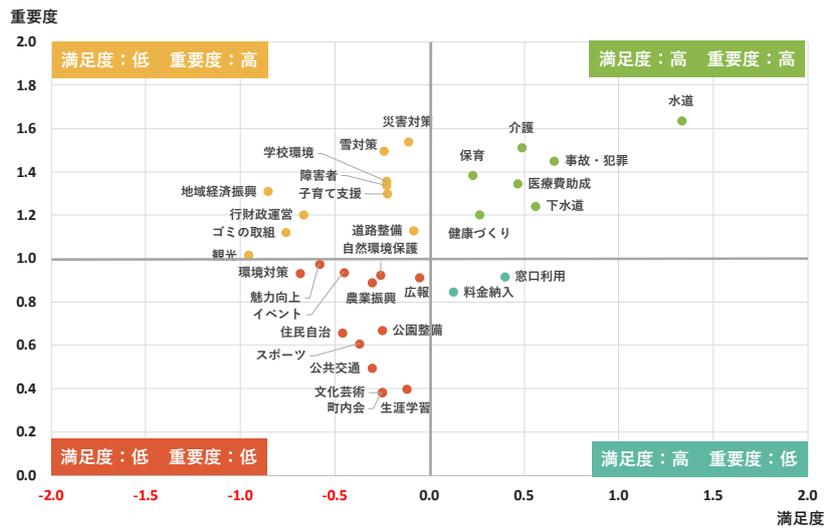


③年齢区分別

30 歳代以下



40-50 歳代



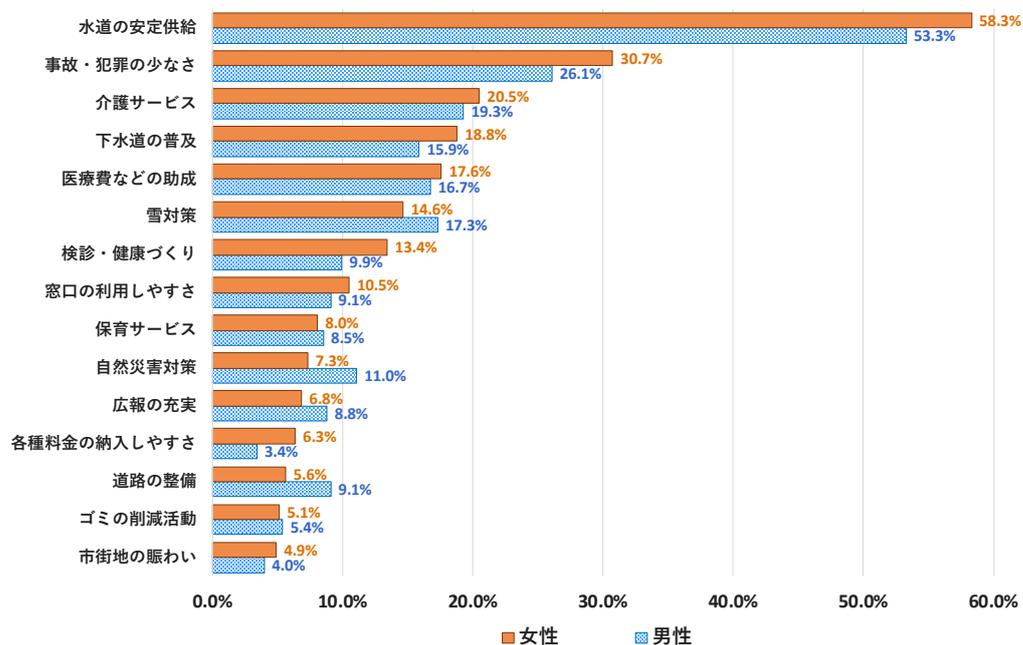
60 歳代以上



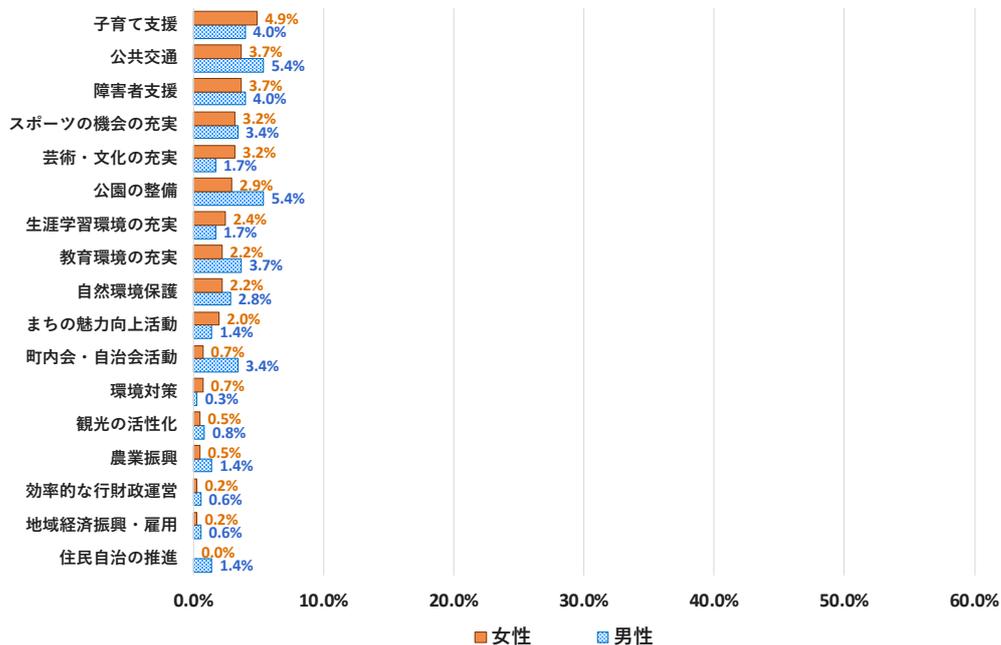
(2) 満足度が高い取組(3つまで)(問 12)

①性別割合

(上位)



(下位)

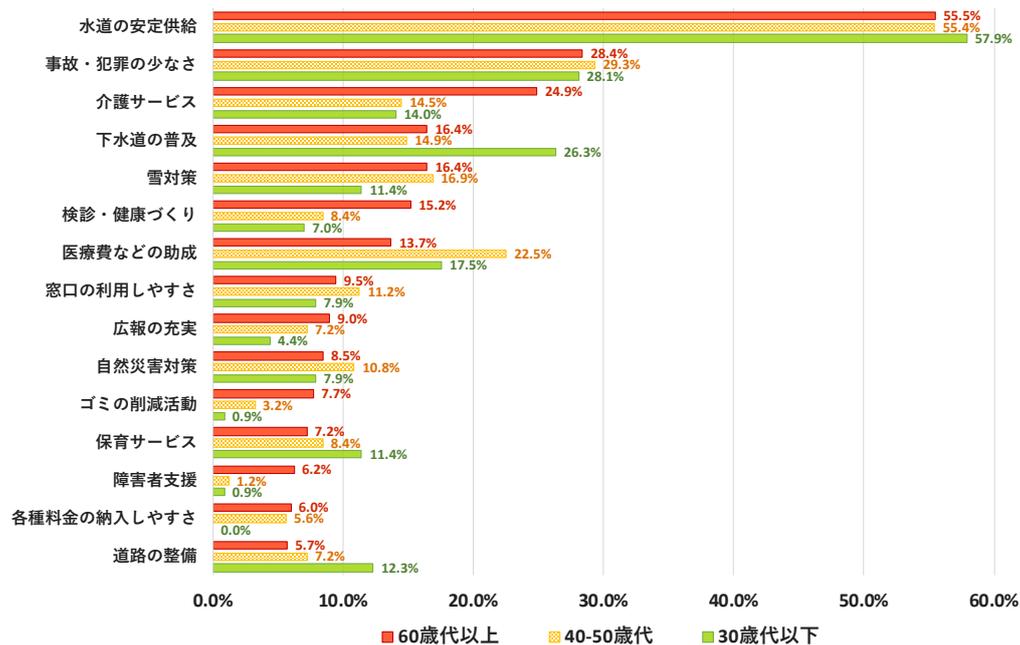


注 1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており，回答数/回答者数で定義されている。

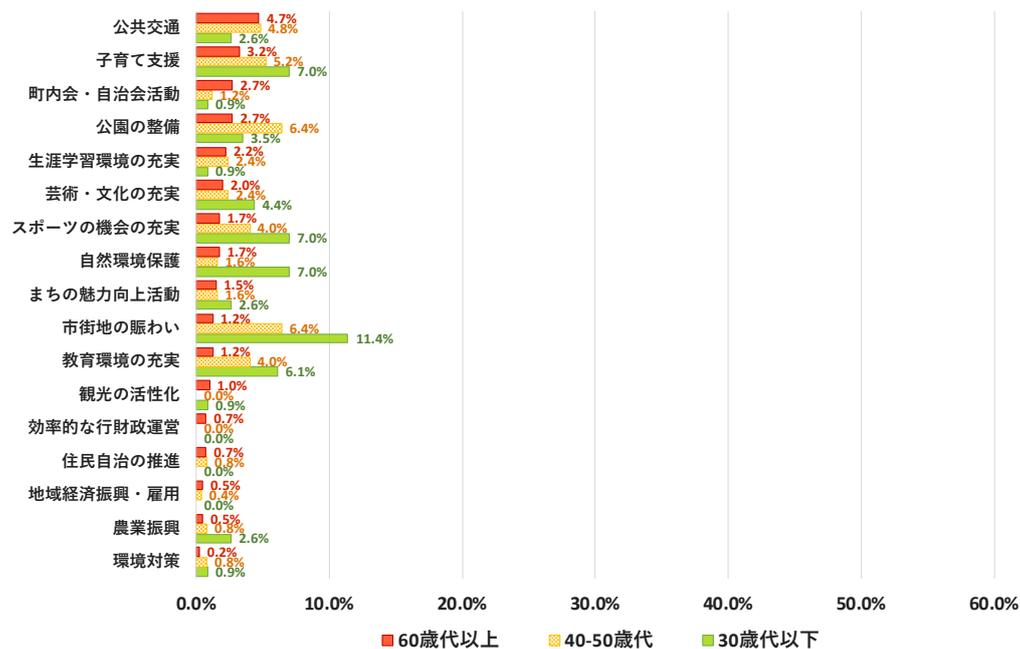
注 2：女性の回答割合で降順にソート。

②年齢区分別割合

(上位)



(下位)

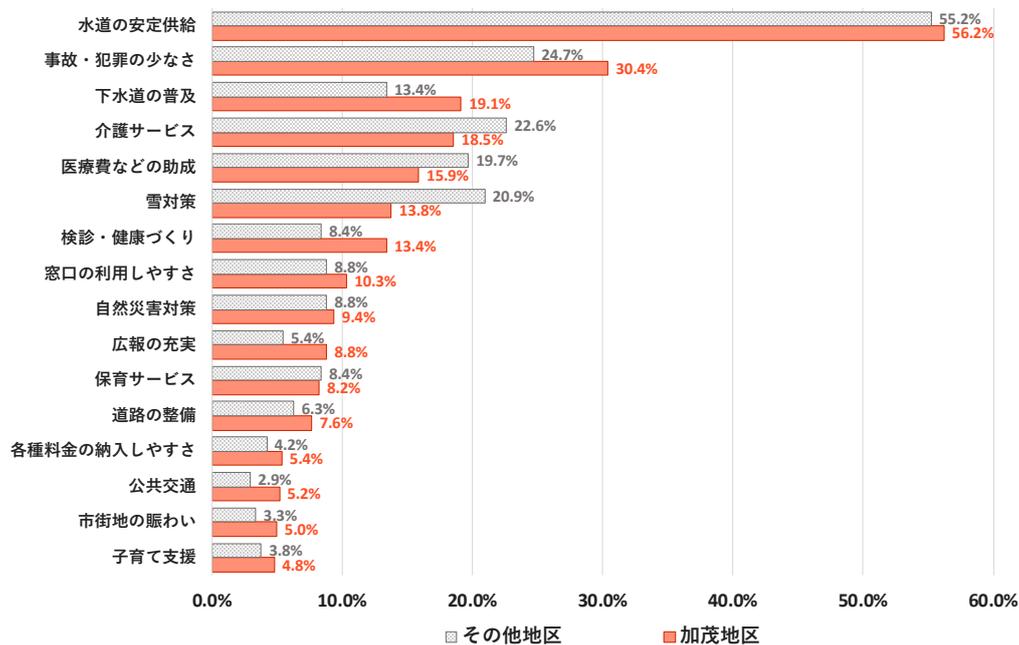


注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

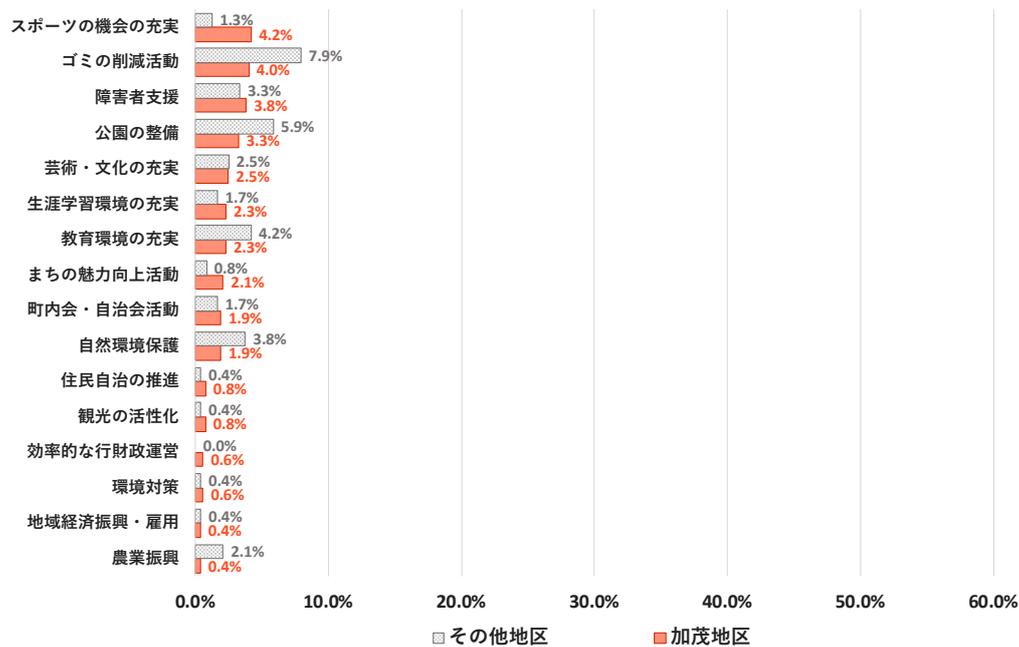
注2：60歳代以上の回答割合で降順にソート。

③地区別割合

(上位)



(下位)



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：加茂地区の回答割合で降順にソート。

特に満足している取組(3つまで)

①性別

- ・ 50%以上の男女がともに「水道の安定供給」を挙げている。
- ・ 男女差は大きくないが、男女間で比較すると、男性は「道路の整備」と「自然災害対策」を挙げる割合が高く、女性は「水道の安定供給」、「事故・犯罪の少なさ」を挙げる割合が高い。

②年齢区分別

- ・ どの年齢区分も、50%超が「水道の安定供給」、25%超が「事故・犯罪の少なさ」を挙げている。
- ・ 年齢差は大きく、年齢区分間で比較すると、30歳代は「下水道の普及」、「道路の整備」、「市街地の賑わい」、40-50歳代は「医療費などの助成」、60歳代以上は「介護サービス」を挙げる割合が相対的に高い。
- ・ 「子育て支援」は、30歳代以下の7.0%、40-50歳代の5.2%、60歳代以上の3.2%しか満足度が高いと回答していない。「保育サービス」は、30歳代以下の11.4%、40-50歳代の8.4%、60歳代以上の7.2%しか満足度が高いと回答していない。
- ・ 「教育環境の充実」は、30歳代以下の6.1%、40-50歳代の4.0%、60歳代以上の1.2%しか満足度が高いと回答していない。

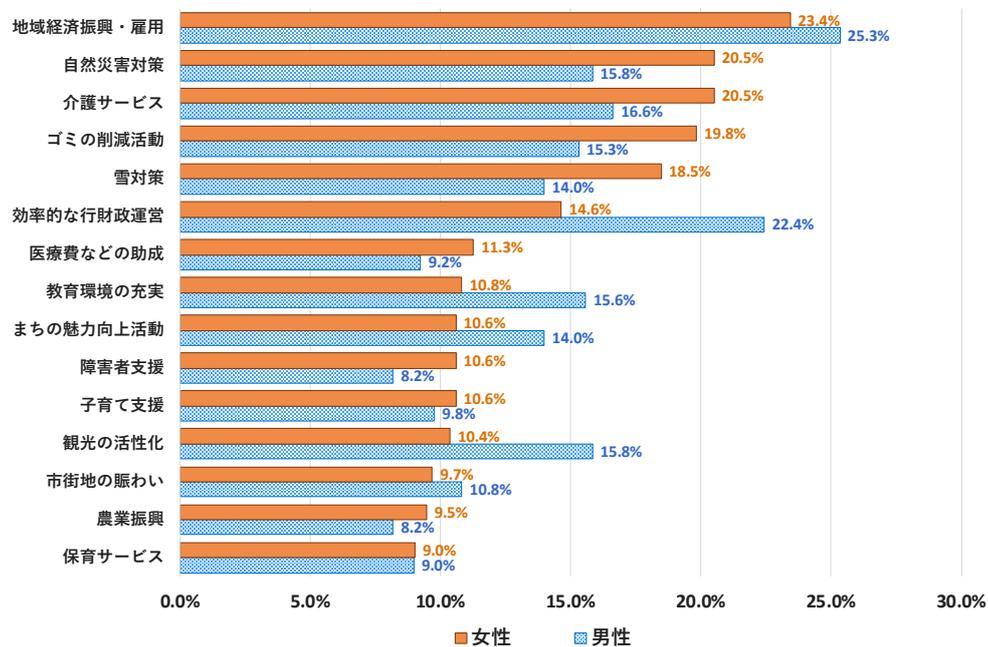
③地区別

- ・ 地区による差は小さいが、地区間で比較すると、加茂地区では「下水道の普及」と「事故・犯罪の少なさ」を挙げる割合が高く、その他地区は「雪対策」と「介護サービス」を挙げる割合が高い。

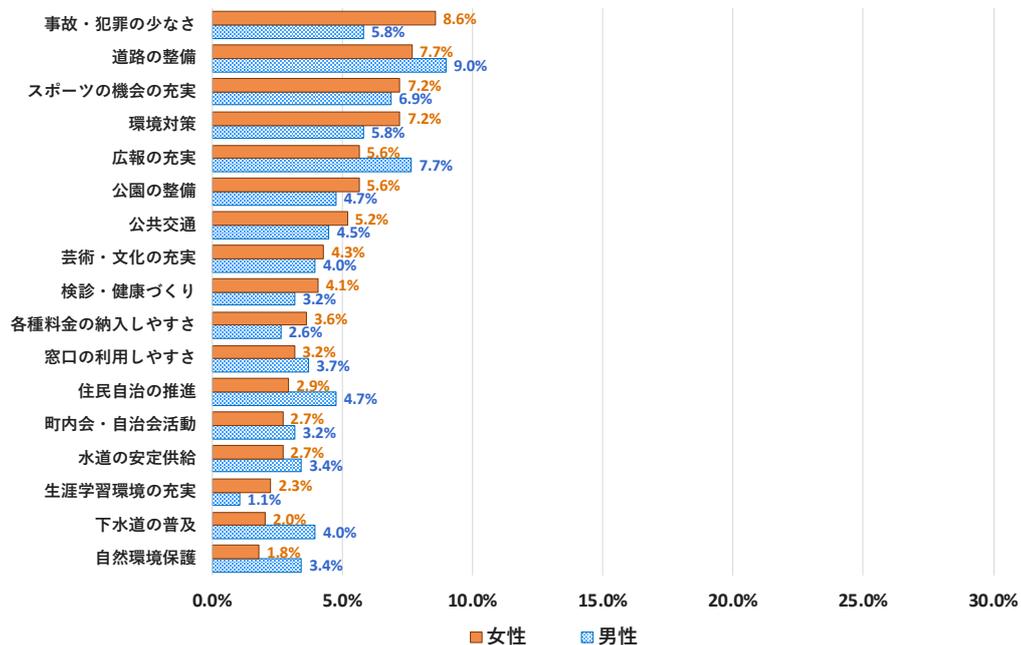
(3) 重要度が高い取組(3つまで)(問 12)

①性別割合

(上位)



(下位)

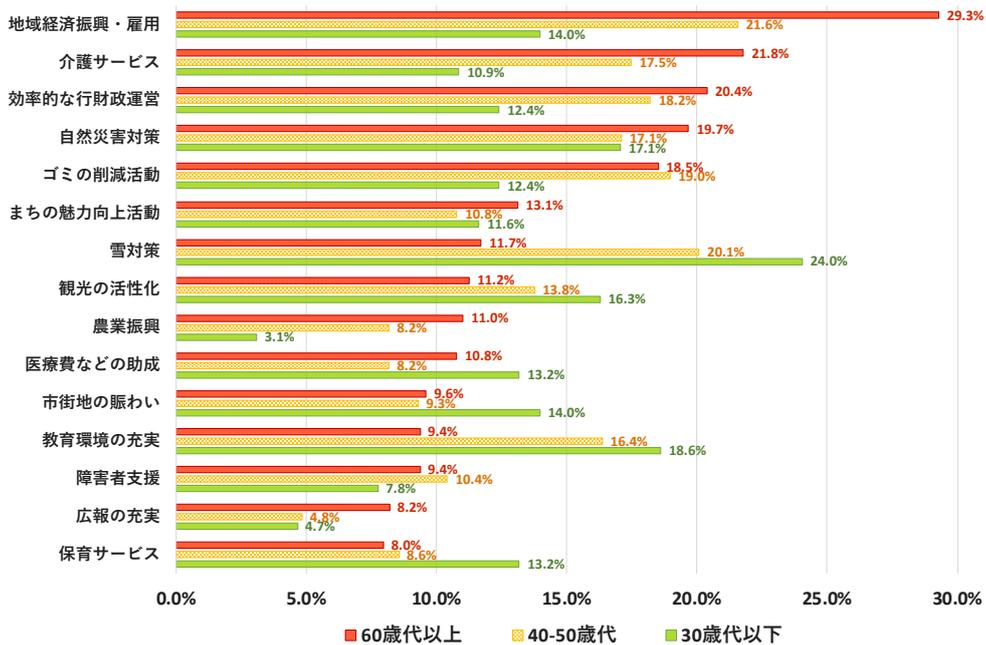


注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

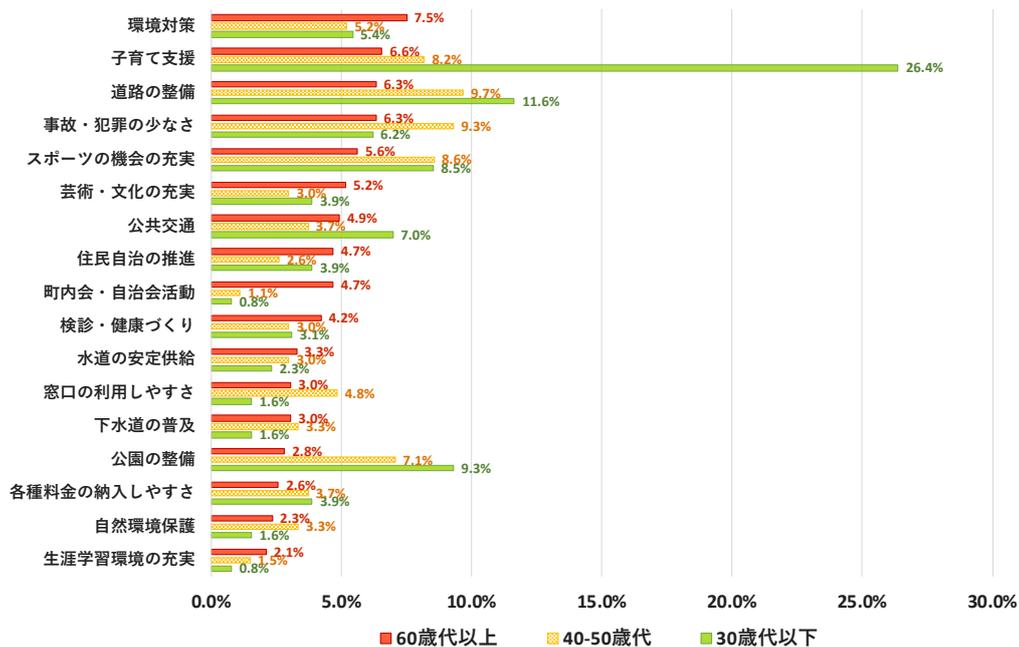
注2：女性の回答割合で降順にソート。

②年齢区分別割合

(上位)



(下位)

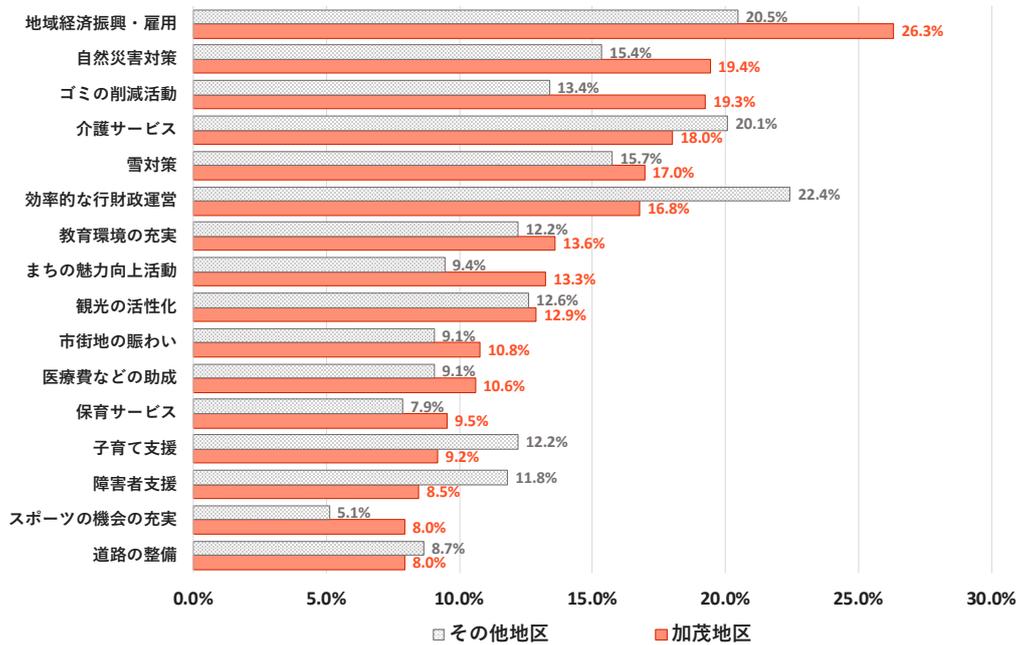


注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

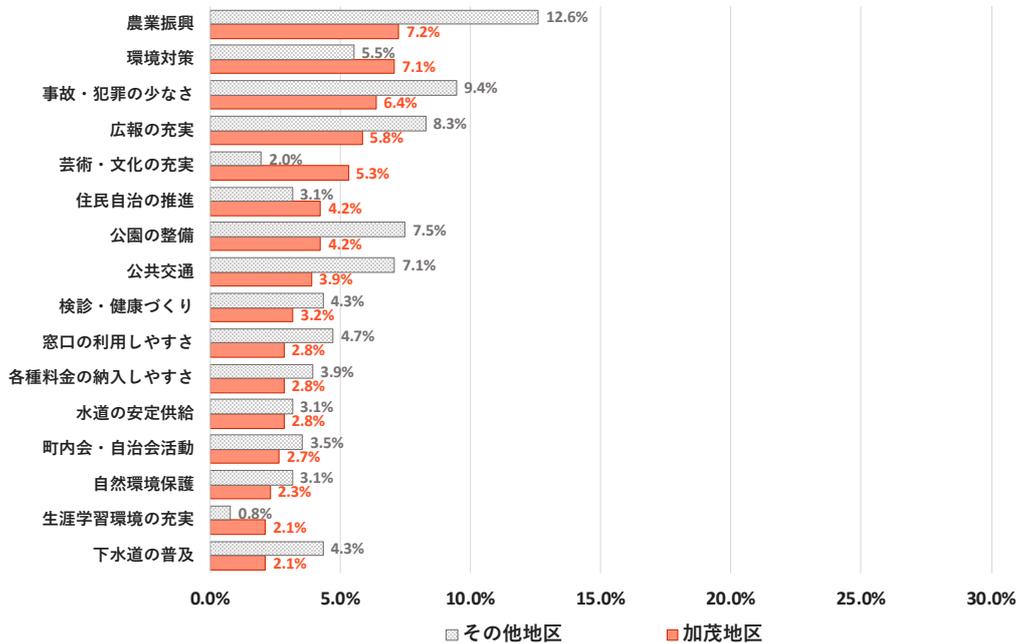
注2：60歳代以上の回答割合で降順にソート。

③地区別割合

(上位)



(下位)



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：加茂地区の回答割合で降順にソート。

特に重要な取組(3つまで)

①性別

- ・ 20%以上の男女がともに「地域経済振興・雇用」を挙げている。
- ・ 男女差は大きく、男女間で比較すると、男性は「効率的な行財政運営」、「観光の活性化」、「教育環境の充実」、「まちの魅力向上活動」を挙げる割合が高く、女性は「自然災害対策」、「雪対策」、「介護サービス」、「ゴミの削減活動」を挙げる割合が高い。

②年齢区分別

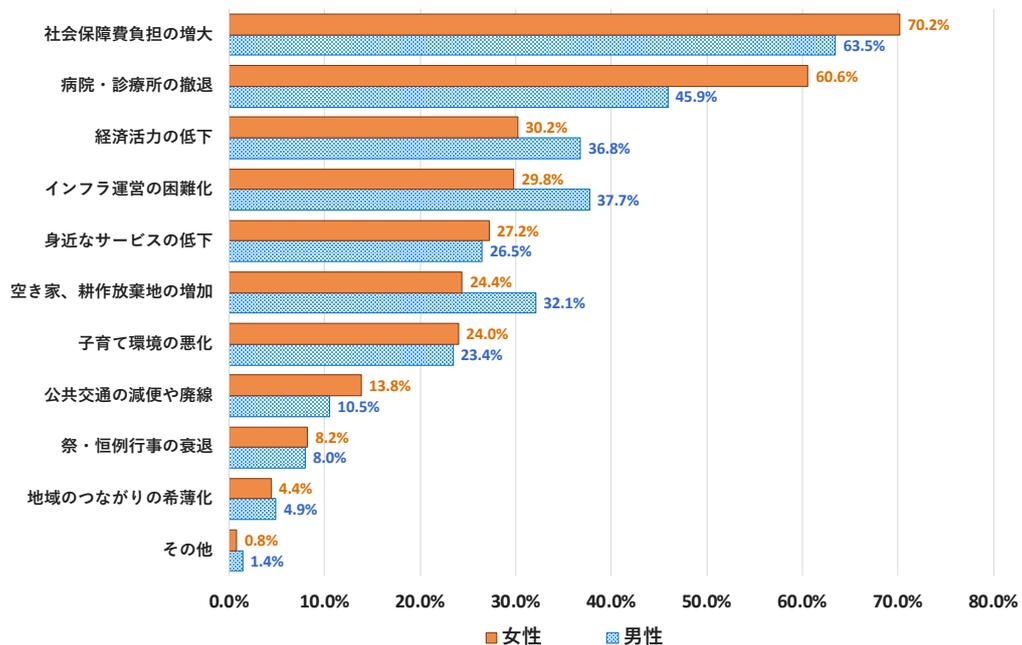
- ・ 40-50歳代と60歳代以上の20%超が「地域経済振興・雇用」、30歳代以下と40-50歳代の20%超が「雪対策」を挙げている。
- ・ 年齢差は特に大きく、年齢区分間で比較すると、30歳代は「子育て支援」(26.4%)、「雪対策」(24.0%)、「観光の活性化」(16.3%)、「市街地の賑わい」(14.0%)、「医療費などの助成」(13.2%)、「保育サービス」(13.2%)、「公園整備」(9.3%)を挙げる割合が高く、40-50歳代は「雪対策」と「教育環境の充実」、「介護サービス」、「効率的な行財政運営」、60歳代以上は「地域経済振興・雇用」、「介護サービス」を挙げる割合が高い。
- ・ 「子育て支援」は、30歳代以下の26.4%が重要性が高いと回答したが、40-50歳代は8.2%、60歳代以上は6.6%しか重要性が高いと回答していない。「保育サービス」は、30歳代以下の13.2%が重要性が高いと回答したが、40-50歳代は8.6%、60歳代以上は8.0%しか重要性が高いと回答していない。
- ・ 「教育環境の充実」は、30歳代以下と40-50歳代の18.6%と16.4%が重要性が高いと回答したが、60歳代以上は9.4%しか重要性が高いと回答していない。

③地区別

- ・ 地区による差は大きくないが、地区間で比較すると、加茂地区では「地域経済振興・雇用」、「ゴミの削減活動」、「自然災害対策」を挙げる割合が高く、その他地区は「効率的な行財政運営」と「農業振興」を挙げる割合が高い。

(4) 人口減少が進むとどのようなことが問題となるか(3つまで)(問 15)

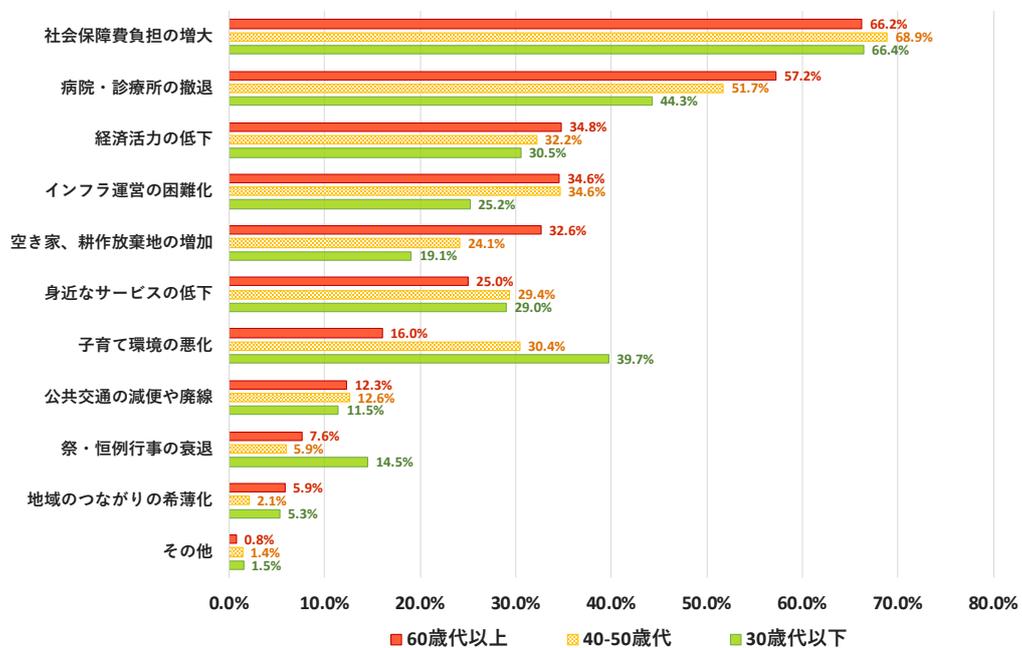
①性別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：女性の回答割合で降順にソート。

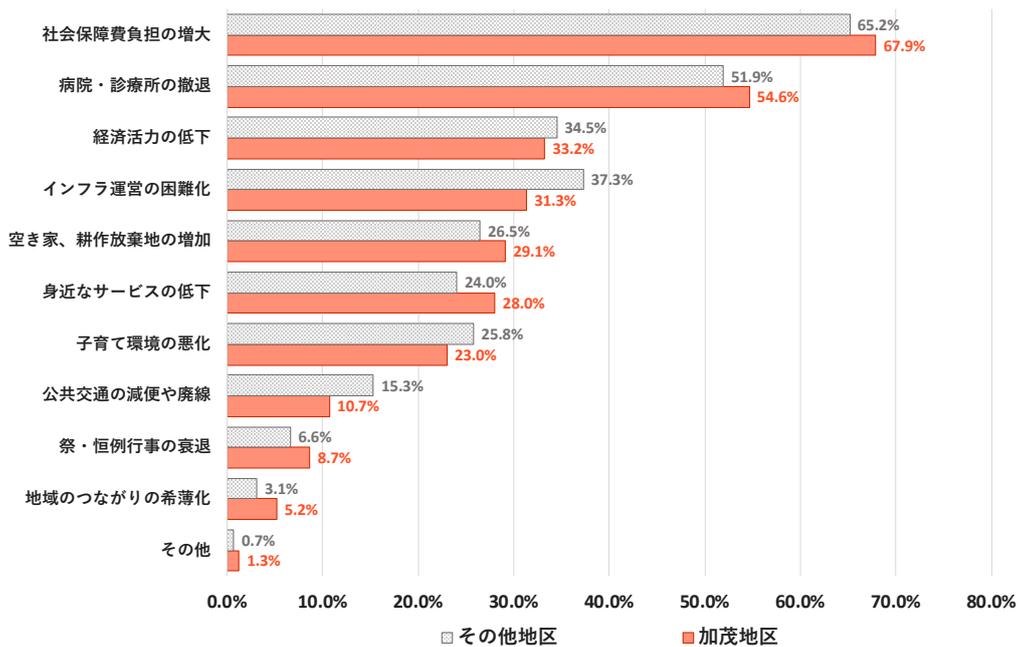
②年齢区分別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：60歳以上の回答割合で降順にソート。

③地区別割合



注1：割合は回答者の何%が各選択肢に回答したかを示しており、回答数/回答者数で定義されている。

注2：加茂地区の回答割合で降順にソート。

①性別

- ・人口減少によって生じる問題について、60%以上の男女がともに「社会保障費負担の増大」を挙げている。男女差は小さくなく、男女間で比較すると、男性では「インフラ運営の困難化」、「空き家、耕作放棄地の増加」、「経済活力の低下」を挙げる割合が高く、女性では「病院・診療所の撤退」と「社会保障費負担の増大」を挙げる割合が高い。

②年齢区分別

- ・年齢差は小さくなく、30歳代以下は「子育て環境の悪化」と「祭・恒例行事の衰退」、40-50歳代は「子育て環境の悪化」、60歳代以上は「空き家、耕作放棄地の増加」と「病院・診療所の撤退」を挙げる割合が高い。
- ・「子育て環境の悪化」への懸念は、30歳代以下と40-50歳代はそれぞれ39.7%と30.4%が回答したが、60歳代以上は16.0%しか回答していない。

③地区別

- ・地区による差は小さく、地区間で比較すると、加茂地区では「身近なサービスの低下」を挙げる割合が高く、其他地区では「インフラ運営の困難化」と「公共交通の減便や廃線」を挙げる割合が相対的に高い。